

シリーズ③
巻頭インタビュー 金融経済教育を語る

梶ヶ谷 穰氏
神奈川大学 法学部 特任准教授

●高校生向け金融教育副教材

「**明るい未来へTRY!**
～リスクと備え～」のご紹介

●授業実践事例〈リアルボイス〉

家庭科

内田 文子 先生

東京都立三鷹中等教育学校 家庭科指導教諭

公民科

佐々木啓真 先生

東京都立世田谷泉高等学校 地歴公民科教諭

●時事ニュース×損害保険

大雨・台風と損害保険



INFORMATION

日本損害保険協会では、教員の皆さまや一般の方々に向けて、損害保険教育に関する情報を発信する

そんぽ学習ナビ を開設しています。

見やすく、分かりやすく、
ほしい情報が手軽に
入手できます



<https://www.sonpo.or.jp/education/>



損害保険教育情報誌「そんぽジャーナル」は、

そんぽ学習ナビ から
「創刊号」、「第2号」、最新号「第3号」を
ご覧いただけます。



<https://www.sonpo.or.jp/education/others/journal/>

一般社団法人 日本損害保険協会 会員会社一覧

| | | |
|--------------------|-----------------|-------------------|
| あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 | 共栄火災海上保険株式会社 | トーア再保険株式会社 |
| アイペット損害保険株式会社 | さくら損害保険株式会社 | 日新火災海上保険株式会社 |
| アクサ損害保険株式会社 | ジェイアイ傷害火災保険株式会社 | 日本地震再保険株式会社 |
| アニコム損害保険株式会社 | セコム損害保険株式会社 | ペット&ファミリー損害保険株式会社 |
| イーデザイン損害保険株式会社 | セゾン自動車火災保険株式会社 | 三井住友海上火災保険株式会社 |
| AIG損害保険株式会社 | 全管協れいわ損害保険株式会社 | 三井ダイレクト損害保険株式会社 |
| エイチ・エス損害保険株式会社 | ソニー損害保険株式会社 | 明治安田損害保険株式会社 |
| SBI損害保険株式会社 | 損害保険ジャパン株式会社 | 楽天損害保険株式会社 |
| au損害保険株式会社 | 大同火災海上保険株式会社 | レスキュー損害保険株式会社 |
| キャピタル損害保険株式会社 | 東京海上日動火災保険株式会社 | |

2023年1月1日現在(会員会社29社50音順)

巻頭
インタビュー

金融経済教育を語る

幅広い視点で金融経済教育や損害保険教育のあり方を探る
巻頭インタビュー「金融経済教育を語る」。シリーズ3回目となる今回は、
神奈川大学の梶ヶ谷穰特任准教授にお話を伺いました。

金融経済教育は「生きる力」を育む学び 細かな内容より原理・原則を理解させ、 教科間や外部との連携も積極的に



神奈川大学 法学部 特任准教授
梶ヶ谷 穰 氏

●かじがや・ゆたか
神奈川県立厚木高校、同厚木南
高校（現 厚木清南高校）、同海老
名高校等 教諭を経て、2019年
4月より現職。文部科学省 学習
指導要領・解説（高等学校・公民）
専門的作業等協力者、厚生労働
省 社会保障教育に関する調査・
開発等事業 協力者、金融広報中
央委員会（日本銀行）金融経済教
育推進会議委員なども務める。

「生きる力」を育むために
金融経済教育が必要

戦争や自然災害、景気低迷、
経済格差……。国内外でさまざま
まな出来事が頻発している現代。
生徒たちが「生きる力」を育むた

めには、高等学校の家庭科と公
民科の授業で金融経済教育を実
施することが、とても大事なこ
とだと私は考えています。そし
て、経済環境は刻々と変化して
いくので、原理・原則をしっか
り理解させることが重要です。

家庭科は日常に則して
公民科は社会に軸足を
両面から金融経済を学ぶ
ただ、ひと口に金融経済教育
といっても、家庭科と公民科で
は、教えること、教える視点が

ごあいさつ

「そんぼジャーナル」は、高校の公民科・家庭科の教員の皆さまに民間保険教育を行
う上で必要な情報を提供するため、2021年2月に創刊し、今回は第3号となります。

日本損害保険協会は、安心かつ安全な社会の形成に寄与することを目的に、「損害
保険の普及啓発及び理解促進に資する事業」を行っており、高校を中心としてリス
クや民間保険に関する教材の提供や講師派遣などを実施しています。

2022年は、福島県沖での地震や東北地方での記録的な大雨、列島を縦断した台
風など、数多くの自然災害が発生しました。このように自然災害が頻発化・激甚化
している状況下では、一人ひとりが適切にリスクを認識し、備えることが重要です。

また、2022年4月から、高等学校学習指導要領（平成30年告示）が年次進行で実
施されており、公民科・家庭科の学習指導要領解説では、民間保険に触れることが
明記されています。さらに、同月1日から成年年齢が18歳に引き下げられ、高校在
学中から親権者の同意を得ずに契約することが可能になった反面、未成年者取消権
を行使できなくなりました。

こうしたことから、高校在学中に身の回りのリスクや保険の仕組み・必要性を理
解し、契約の当事者になったときに自ら適切な保険商品を選択できるようにするた
めの民間保険教育は欠かせません。本誌が、より多くの学校で民間保険教育を実施
するきっかけになれば幸いです。

2023年2月

一般社団法人 日本損害保険協会 佐々木 修
業務企画部長

損害保険教育情報誌 **そんぼジャーナル** 第3号 February / 2023

《目次》

| | |
|----|---|
| 1 | 「あこがれ」 一般社団法人 日本損害保険協会 業務企画部長 佐々木 修 |
| 3 | 巻頭インタビュー 金融経済教育を語る 金融経済教育は「生きる力」を育む学び 細かな内容より原理・原則を理解させ、 教科間や外部との連携も積極的に 神奈川大学 法学部 特任准教授 梶ヶ谷 穰 氏 |
| 6 | 高校生向け金融教育副教材 「明るい未来へTRY!」のご紹介 「リスクと備え」 ■生徒用教材 ■冊子「動画」「パワーポイント」 ■教員向け 「教員用手引書」「授業展開例動画」 「授業実践事例」リアルボイス |
| 10 | 授業実践事例「リアルボイス」 人生を楽しむために リスクに対する備えとしての保険 東京都立三鷹中等教育学校 家庭科指導教諭 内田 文子 先生 〈今回実践した授業プランのご紹介〉 |
| 12 | 公民科 社会保障制度と民間保険の役割を理解 キャリア教育としての側面も付加 東京都立世田谷区高等学校 地歴公民科教諭 佐々木 啓真 先生 〈今回実践した授業プランのご紹介〉 |
| 14 | 時事ニュース×損害保険 時事ニュースから損害保険の今を読み解く 大雨・台風と損害保険 日本損害保険協会では、 教員の皆さまや一般の方々に向けて、 損害保険教育に関する情報を発信する 「そんぼ学習ナビ」を開設しています。 |
| 16 | INFORMATION |

異なります。

現状、家庭科では、パーソナルファイナンス的な視点で金融や経済のことを家計管理やリスク管理、資産形成といった日常生活に則した事柄から考えていきます。

一方で公民科は、どちらかと言えば、コーポレートファイナンス的、パブリックファイナンス的な視点から経済社会の仕組みに軸足を置いた事柄を教えるのだと私は思っています。例えば、企業が資金をどのように投資したら利益として反映されるかということや、国や地方の財政などの説明を多くしているように感じます。

私は以前、あるテキストに、「あなたはどのような国家を理想としますか？」という設問を入れました。そして、答えを導き出すために、「税金の負担は大きいのが、福祉やサービスが充実している」ほうがいいか、それとも「税金の負担は小さいのが、福祉やサービスなどは充実していない」ほうがいいかを選ばせて



たりしながら、大きな政府と小さな政府のどちらが自分にとって理想の国家かを考えさせるようにしました。

大きな政府は税金などの負担は重くなりますが、国民が困ったときには助ける制度がしつ

りしています。一方の小さな政府は、税金など自分が支払うお金は少なくなります。その分、国の役割は限定的です。それは、「国民としては不安が募るばかりだよ」ということになり

ときには必要だと私は考えています。実際、家庭科と公民科の動きも出てきています。家庭科と公民科がセットになって、金融経済という共通のテーマを教

えていく。公民科のマクロ的な視点と家庭科のミクロ的な視点があうまく調和することで、授業が効率的になるだけでなく、生徒たちにとって各科の学びが自分ごとになり、理解がより進むと私は思っています。

民間保険に関しては 理念や役割、機能など 全体像を理解させる

2022年4月にスタートした家庭科の新学習指導要領では、金融商品のことも取り上げるようになりましたが、金融商品についてはあまり細かな内容には言及せずに、例えば、資産形成に関連して株式投資や公社債な

どを説明する程度でよいと私は考えています。

保険についてもそうです。生命保険や損害保険といった民間保険の理念や目的、役割、機能といったところを教える。保険商品の具体的な内容を教えるというよりも、保険の全体像を理解させる。例えば、大数の法則や公平の原則、あるいは「貯蓄は三角、保険は四角」などは、保険の概念を教えるときに使えると思います。保険の成り立ちに関する話も「保険は助け合い」ということにつながり、公民科の先生は取り上げたい内容でしょう。

民間保険は、貯蓄だけでは備えられない場合の保障(補償)となるので、保険料を支払う余裕があれば、入っておく必要があります。それは、自分のためだけでなく、社会保障制度の持続性向上にもつながります。自分

のリスクにあわせて保険に入っているように、生徒たちも賢明だということ、生徒たちに伝えてほしいです。

保険の本質は共助 損得で保険を捉えるのは ナンセンス

公民科の新学習指導要領では、社会保障制度を学ぶときに、貯蓄や民間保険、自助、共助、公助などについても併せて学ぶことになりました。

じつは、これまで高等学校の教科書で保険を取り上げることが、ほとんどありませんでした。それについては、社会保険や社会福祉などを教える大学の先生方から「高等学校の教科書で保険のことに触れなくていいの」と指摘されてきました。保険の役割や機能、原理・原則を教えるに、損得だけで保険を捉えることはいいはず

「大きな政府がいい」「小さな政府がいい」「その中間がいい」などの意見が生徒たちから出てきます。このように、公民科は社会からのアプローチになります。一方の家庭科は家計からアプローチします。公民科と家庭科には、このような違いがあると思います。

家庭科と公民科の 教科間連携によって 生徒たちの理解が進む

とはいえ、生徒たちに身につけてほしいのは、どんなことに直面しても生き抜いていくことができる知識や技術、考える力です。アプローチの方法は少し違いますが、家庭科も公民科もそれは同じです。つまり、金融経済教育においては、家庭科と公民科でやることは、重複していることも多いのです。

現場の先生方は、教えなければいけないのが山ほどある。でも、時間はない。だからこそ、いわゆる教科間連携をして、効率的に授業を進めていくことも、

金融商品や保険など 苦手な分野は 外部の力を借りる

新学習指導要領で新たに入ってきた金融商品や保険に関する知識も、現場の先生にとっては不安材料だと思います。ただ、それについては外部の方の力を借りることで基本的な解決すると私は考えています。例えば私の場合、証券投資や消費者問題については、それぞれの外部の専門家に学校に来てもらい、授業や課外講座をしていただきました。

こうすることで、先生だけでなく生徒たちの学びも深くなります。外部の専門家の力を借りることは、多くのメリットがあります。さまざまな方々と手に連携し、より実践的な授業を目指すことも重要だと私は思っています。

高校生向け
金融教育副教材

明るい未来へTRY! リスクと備え

この紹介

家庭科・公民科

高等学校学習指導要領
(平成30年告示) 対応

家庭科、公民科の学習指導要領解説に沿って
活用可能な教材です

本教材は、家庭科と公民科の「高等学校学習指導要領平成30年告示」解説に沿って活用できます。例えば、家庭基礎、家庭総合では「消費生活(経済計画とライフプラン)」、公民では「社会保障の役割」の単元に対応しています。また、それぞれの科目の学習に加え、保険の基本や損害保険について、さらに学習を深めることもできます。

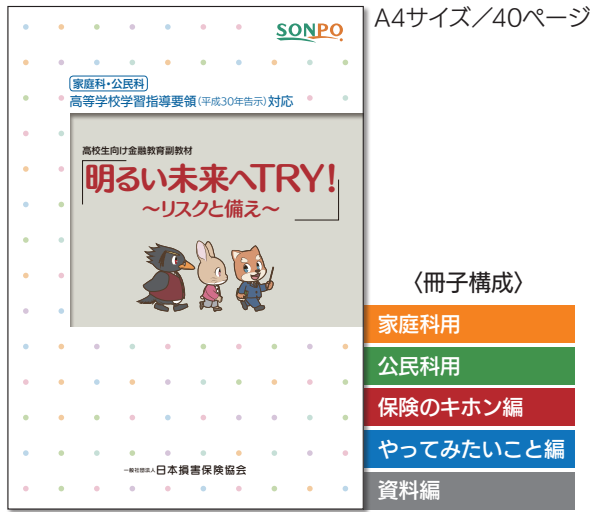
生徒用教材は3種類の媒体があり、
教員向けの手引書や動画も用意しています

生徒用教材は「冊子」「動画」「パワーポイント」の3種類があり、授業展開に合わせて選択または組み合わせて使用できます。また、通常の授業で利用するほかに、生徒の自主学習や休暇中の課題などにも活用できます。教員向けには、教材の活用方法の参考となる「教員手引書」や「授業展開例動画」を用意しています。

- 生徒用教材
- 冊子
- 動画
- パワーポイント
- 教員向け
- 教員用手引書
- 授業展開例動画

冊子

生徒用教材



本冊子は、科目ごとの該当単元で学習する「家庭科用」「公民科用」、保険の基本を学習する「保険のキホン編」、さらに、損害保険について深く学習する「やってみようこと編」で構成されています。授業の流れに沿って活用したり、生徒の興味・関心をフックに「保険」について学習することが可能な教材です。

教材の活用例

- テーマを選択して、個別に学習する
授業に合わせて、どのテーマからでも自由に始められます。

| | |
|-------------|---------------|
| 家庭科用 | 公民科用 |
| 保険のキホン編+資料編 | やってみようこと編+資料編 |
- テーマを順に学習して、保険への理解を深める
 - ①科目ごとに学習

| | |
|------|------|
| 家庭科用 | 公民科用 |
|------|------|
 - ②Workを解きながら保険の基本を学習

| | |
|-------------|------------------------------|
| 保険のキホン編+資料編 | ※科目ごとの学習後、損害保険の学習に進むことも可能です。 |
|-------------|------------------------------|
 - ③“やってみようこと”から、損害保険についてさらに詳しく学習

| |
|---------------|
| やってみようこと編+資料編 |
|---------------|

家庭科用

将来に備えた経済計画を考えよう

誰もが人生の経済的計画、人生の節目に必要に応じて、生活スタイル、ライフイベントも変化する。また、その節目には思いやりが求められる。ライフイベントも変化する。また、その節目には思いやりが求められる。ライフイベントも変化する。また、その節目には思いやりが求められる。

将来を安心して暮らすために

まずは貯蓄で準備

1 さまざまなライフイベントに備える貯蓄

2 貯蓄先と預金の種類

※ここで紹介しているページは、2023年3月中旬、日本損害保険協会ホームページ内「そんぽ学習ナビ」に掲載予定です。デザイン、内容については今後変更の可能性があります。



家庭基礎、家庭総合 「経済計画とライフプラン」の単元に対応した学習

家庭科の「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説」に沿って活用することが可能です。ライフステージと各イベントに必要なお金の例をあげながら、自分の目標や夢を叶えるためのお金の準備の仕方、不測の事態への備え方などの経済計画の組み立て方を図やイラストを用いて紹介しています。さらに、高校生自らが考え、互いに話し合いができる問いかけも入っています。

公共

「社会保障の役割」の単元に対応した学習

公民科の「高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説」に沿って活用することが可能です。共助・公助としての社会保障制度、保険の仕組み、日本の社会保障制度の課題などを図やイラストを用いて紹介しています。さらに、高校生自らが考え、互いに話し合いができる問いかけも入っています。

公民科用

自助・共助・公助の適切な組み合わせについて考えよう

自助・共助・公助の適切な組み合わせについて考えよう

自助

共助

公助

自助・共助・公助の適切な組み合わせについて考えよう

※ここで紹介しているページは、2023年3月中旬、日本損害保険協会ホームページ内「そんぽ学習ナビ」に掲載予定です。デザイン、内容については今後変更の可能性があります。



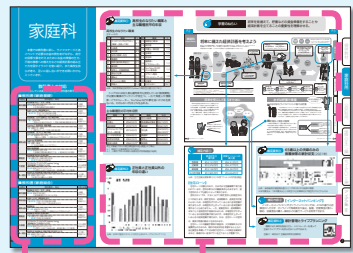
P2~7

将来に備えた経済計画を考えよう

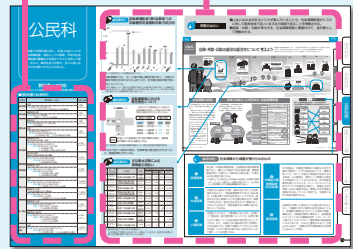
P8~13

自助・共助・公助の適切な組み合わせについて考えよう

教員向け 教員用手引書



各教科書の対応単元を記載しています。生徒用冊子を使った授業に役立つ情報を記載しています。



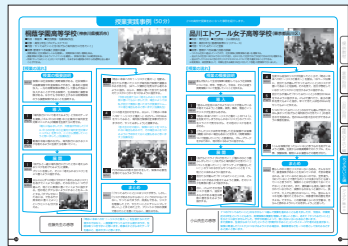
生徒用冊子「Think」の解答例や、コピーして利用可能なワークシートを用意しています。

※ここで紹介しているページは、2023年3月中旬、日本損害保険協会ホームページ内「そんぽ学習ナビ」に掲載予定です。デザイン、内容については今後変更の可能性があります。

A4サイズ／40ページ



先生方が、生徒用教材を使って授業を実施する際の参考として、学習のねらいや補足資料などを掲載しています。また、授業展開例や、授業での生徒への問いかけアイデア、実際の授業事例なども紹介しています。



生徒用冊子の各ページの資料のほかに、授業プランや授業実践例、損害保険の用語解説なども記載しています。

教員向け 授業展開例動画 (保険のキホン編・やってみようこと編対応)

教材を用いた授業展開例を模擬授業形式の動画にしています。



公民科 (50分版) 家庭科 (50分版) 家庭科 (30分版)

各教材のダウンロードはこちらから!

ここで紹介した各教材は、2023年3月中旬、日本損害保険協会ホームページ内「損害保険教育支援サイト そんぽ学習ナビ」-「高校生向け教材」に掲載予定です。なお、掲載されているデザイン、内容については今後変更の可能性があります。

<https://www.sonpo.or.jp/education/high/>



P11,13では、ここで紹介した各教材を使用して、「家庭基礎、家庭総合」「公共、政治・経済」で損害保険の授業をおこなう場合の授業プランを紹介しています。ぜひ参考にしてください。

保険のキホン編



●保険のキホン (約9分50秒)

上記の動画「保険のキホン編」の内容を2つに分けた「保険の役割編」と「社会保険と民間保険編」の動画もあります。授業時間に合わせて活用できます。

- 保険の役割 (約7分30秒)
- 社会保険と民間保険 (約7分30秒)

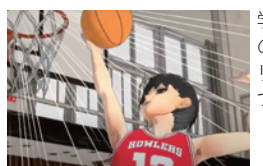
経済的な備えとしての保険の役割や、保険には「社会保険」と「民間保険」があることを学習できます。

やってみようこと編



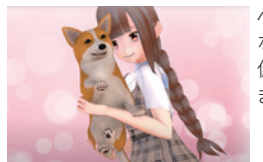
●憧れのひとり暮らしをしたい! (約12分45秒)

ひとり暮らしにおけるすまいや家財の被災、空き巣被害などのリスクとその備えについて学習できます。



●高校生活を思いきり楽しみたい! (約12分10秒)

学校内や日常生活での病気やケガなどのリスクとその備えについて学習できます。



●ペットを飼いたい! (約8分30秒)

ペットの病気やケガなどのリスクとその備えについて学習できます。

生徒用教材 動画

動画は「保険のキホン編」(3種類)と「やってみようこと編」(6種類)の計9種類を用意しています。例えば、授業の導入として使用したり、クイズ形式でWorkを解かせるときなどにも利用できます。また、動画のみで学習を進めることもできますので、生徒の自主学習用教材としても活用できます。



●週末はサイクリングを楽しみたい! (約11分30秒)

自転車を運転中のケガや物損事故、加害者となる人身事故などのリスクとその備えについて学習できます。



●友だちとドライブに行きたい! (約11分20秒)

くるまの盗難や故障、運転時の物損事故や人身事故などのリスクとその備えについて学習できます。



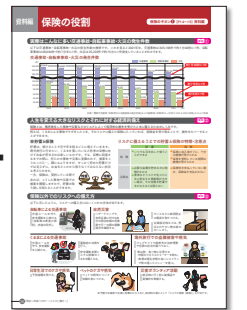
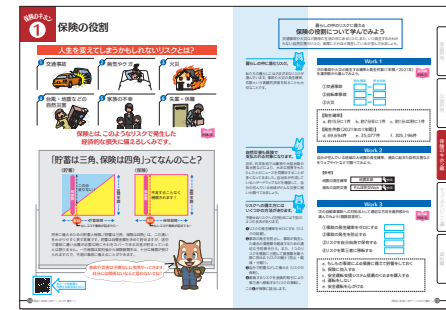
●友だちと海外旅行に行きたい! (約10分30秒)

海外旅行中の事故、病気やケガ、荷物の盗難などのリスクとその備えについて学習できます。

保険のキホン編 + 資料編

P14~17 + P28~29

- 1 保険の役割
- 2 社会保険と民間保険



Workを解きながら「保険のキホン編」(3種類)と「やってみようこと編」(6種類)の計9種類を用意しています。例えば、授業の導入として使用したり、クイズ形式でWorkを解かせるときなどにも利用できます。また、動画のみで学習を進めることもできますので、生徒の自主学習用教材としても活用できます。

保険についての基本的な知識を得ることができ、保険は、事故や災害などの様々なリスクによって生じた経済的な損失に備えるためのものであること、さらに保険には「社会保険」と「民間保険」の2つがあることを学ぶことができます。

Workを解きながら、保険のしくみや役割を学習したり、社会保険と民間保険の違いについて、理解を深めることができます。

やってみようこと編 + 資料編

P18~27 + P30~35

- 1 週末はサイクリングを楽しみたい!
- 2 憧れのひとり暮らしがしたい!
- 3 友だちとドライブに行きたい!
- 4 高校生活を思いきり楽しみたい!
- 5 友だちと海外旅行に行きたい!
- 6 ペットを飼いたい!
- 7 ボランティア活動をしたい!



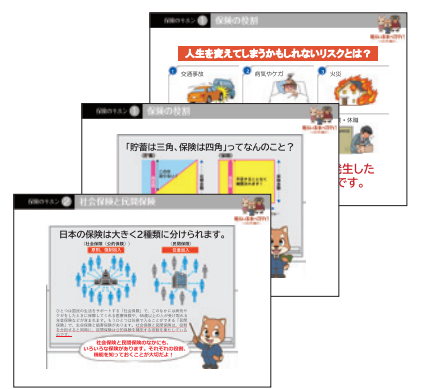
生徒が「やってみようこと編」(6種類)と「やってみようこと編」(6種類)の計9種類を用意しています。例えば、授業の導入として使用したり、クイズ形式でWorkを解かせるときなどにも利用できます。また、動画のみで学習を進めることもできますので、生徒の自主学習用教材としても活用できます。

「やってみようこと編」をおこなう前に、あらかじめ「保険のキホン編」を学んでおくこと、よりスムーズに生徒の理解が進みます。

通常の授業以外でも、夏休みなどの長期休暇前や卒業前、自動車の運転免許を取得できる年齢になったタイミングなど、テーマにあった場面で活用することも可能です。

生徒が「やってみようこと編」(6種類)と「やってみようこと編」(6種類)の計9種類を用意しています。例えば、授業の導入として使用したり、クイズ形式でWorkを解かせるときなどにも利用できます。また、動画のみで学習を進めることもできますので、生徒の自主学習用教材としても活用できます。

生徒用教材 パワーポイント



生徒用教材の冊子をパワーポイント化したもので、冊子の内容をスクリーンに映して授業を進めるときなどに便利です。すべてを1つにまとめたファイルと、各テーマごとに分割したファイルを用意しています。

パワーポイントファイルは自由に編集できます。内容の変更や新しい事例を追加することでオリジナルの授業を展開できます。授業内容にあわせて活用ください。

※情報を編集・変更する場合は、「自身の責任でおこなってください。」

Workを解きながら保険の基本を学習

より詳しく損害保険について学習

人生を楽しむために リスクに対する備えとしての保険

教材「明るい未来へTRY!」と、動画、ICT機器を併用し、1年生の家庭基礎に
向けた授業案を作成した内田文子先生。実際の授業での進め方や生徒の反応など
を伺いました。



東京都立三鷹中等教育学校
家庭科指導教諭

内田 文子 先生

生徒たちの人生には、将来い
ろんな出来事が待っています。た
くさんの楽しい出来事もあると思
います。ただし、その実現のため
にはお金が必要ですから、貯蓄を
して備えることが大切です。



損害保険のことはよく知らないといいつながら
熱心に授業に取り組む生徒たち

傷つくことがあります。生徒たち
にはリスクに対して無防備でいて
欲しくないと考えています。そこ
で、リスクに対する備えのひとつ
として、今回、民間保険を授業で
取り上げました。

学びの共有を通じた 生徒主体の授業

授業をするにあたり、日本損害
保険協会のホームページに掲載さ
れている「明るい未来へTRY!」
の動画教材も併せて使うことにし
ました。6つのテーマの動画がアッ
プされていました。限られた授
業時間内で、生徒全員がすべて見
ることはできません。
なるべく多くのテーマに関して
知って欲しいと思い、予め6人程
度のグループに分け、生徒たちに
1テーマずつ、担当のテーマを決
めて見てもらいました。また、事

前に、教員がグループごとのファ
イル(学んだことを記載)を作成
し、生徒たちと共有しました。そ
うすることにより、生徒たちは授
業中に自分のグループのファイル
にそれぞれが学んだことを記入し、
ひとつのファイルをグループメン
バー全員で共同編集することがで
きます。共同編集した後は、ファ
イルを見ながら生徒同士で発表し
たり、話し合ったりさせました。

この方が教員が一方的に説明する
よりも、各テーマに対する共感も
生まれやすいのではないかと考え
たからです。
授業後にはアンケートを実施し
ました。授業で印象に残ったこと
や、何に一番興味を持ったかなど、
生徒たちの回答を調べた結果「海
外旅行」「ひとり暮らし」「ペット」
「学生生活」の保険への関心が高
かったです。大人になって保険に

入るときには、多様な保険の中で、
自分のニーズに合うものを調べて
選びたいとか、想像以上に世の中
にはリスクがあり、それぞれに対
応する保険があるけれど、保険の
種類によって保障(補償)範囲が
違うことが分かった、という意見
もありました。

また、方が一、事故の加害者に
なってしまったら、多額の賠償を
支払わなくてはならない可能性が
あるということも、大半の生徒は
知らなかったようです。感想のな
かで多かったのは、「保険の重要性
が分かった」「保険には入ってお
いた方がいいが、いろいろな保険が
あるから、入る時は調べることで
大切だと思った」というものでし
た。授業を通して生徒たちが自分
ごととして、保険やリスク管理を
考えるきっかけになったのではな
いかと思います。

今回実践した授業プランのご紹介

家庭科[家庭基礎、家庭総合]

対応単元(例) 消費生活(お金の管理とライフプラン)

目的

- 偶然発生した事故や災害のリスクは、人生を変えてしまうかもしれない。その経済的損失に備えるためにいろいろな保険があることを知る。
- 人生を変えてしまうかもしれないリスクとそれに対応する保険があることをグループで共有する。

プランのポイント

- ▶ ささまざまなリスクに対する保険があることをグループで共有するための方法として、ICT機器を用いてグループごとにファイル(学んだことを記載)を共同編集し、生徒各自が学んだことを共有するプランにしました。

学習の展開 ※学習の前提として、「保険のしくみ」と「社会保険と民間保険」について終わっていることとする。

| 時間配当 (各) [計] | 学習内容と指導上のポイント | | 使用教材等 |
|----------------------|--|--|--|
| | 学習内容 | ポイント | |
| 導入 (5分) [5分] | ① 人生を変えてしまうかもしれないリスクには何があるかを考える。 | ▶ 保険の役割について確認させる。 | 冊子 「保険の役割」 |
| | ② 貯蓄と保険について知る。 | ▶ 「貯蓄は三角、保険は四角」の考え方について確認させる。 | パワーポイント 「貯蓄は三角、保険は四角」 |
| 展開 (40分) [45分] | ① リスクへの備え方について考える。 | ▶ 民間保険(損害保険)について学習することを知らせる。 | 冊子 「リスクへの備え方」 |
| | ② グループに分かれて「やってみたいこと」の①～⑦の中から興味のあること4テーマを選び、それぞれ動画*を視聴する。(1グループ6人程度とする。) | ▶ グループのなかで、生徒一人ひとりに担当のテーマを割り振って、選んだ動画をICT機器で視聴させる。 ▶ 視聴後、ICT機器を利用し、グループごとに用意しておいたファイルに生徒各自が視聴した内容をまとめさせる(共同編集させる)。 まとめる内容(例) ・ リスクに備えるために私たちにできること ・ 視聴して、皆と共有したいこと など | 動画 「やってみたいこと」*の中から選択して各自視聴 冊子 「やってみたいこと編」、 「資料編」 |
| | ③ 各自まとめたことを、各グループで共有する。 時間に余裕のあるグループは、貯蓄と保険の違いについて、それぞれのメリット・デメリットを考える。 | ▶ グループごとに発表させる。 1人当たり3～4分(質問時間を含む)とする。 | |
| | ④ リスク管理(リスクマネジメント)について考える。 | ▶ 各グループの発表終了後、フォーム機能等を用いてアンケートを実施し、生徒に感想を送ってもらう。 | |
| まとめ (5分) [50分] | ● 本時の学習内容について振り返る。 | ▶ 集計した結果を生徒たちに見せて、本時のねらいの達成に向けた実現状況を確認させる。 | |

※「ボランティアがしたい!」の動画はありません。

社会保障制度と民間保険の役割を理解 キャリア教育としての側面も付加

教材「明るい未来へTRY」を活用して1年生の公共の授業をおこなった佐々木啓真先生に、
社会保障制度や民間保険を自分ごととして捉えさせる工夫などを伺いました。



東京都立世田谷高等学校
地歴公民科教諭
佐々木 啓真 先生

今回の授業の大きなポイントは、社会保障教育の単元に民間保険の学習を盛り込んだところです。生徒には人生の中で生じるリスクに気づいてもらい、積極的に考える姿勢を身につけてほしいと考え、授業を構成しました。



グループワークで話し合う生徒たちの様子。「人を傷つけてしまったときのための保険を重視するグループと、自分が損害を被ったときのための保険を重視するグループに分かれました。よい意味で、利他的・利己的の違いが出ました」と佐々木先生。

点を取って単位を落とす」というリスクを取り上げ、それを回避する方法を、自助、共助、公助に結びつけて説明しました。つまり、1人で勉強するのが自助、友だちと教え合うのが共助、先生のような大きな存在に教えてもらうのが公助としたわけです。これは生徒たちの反応がよく、身近なことに落とし込むと伝わりやすいのだと感じました。

また、授業では「病気になる」「事故に遭う」といった幅広いリスクに気づかせた上で、社会保障制度や民間保険の説明につなげていくようにしました。授業の振り返りでは「社会保障はお金をたくさん取られるイメージだったので、他の人の医療費を支えることでもあると知り、よい仕組みだと思った」と書く生徒もいて、自分ごととしてきちんと理解していると感じました。

グループワークでは価値観の相違を実感

結びつけて教えたのも、今回の授業で工夫した点です。社会保障制度を説明したあとに、じつは制度の持続可能性を脅かすことがおきていると生徒に問題提起し、その要因の一つが少子高齢化であると説明しました。そして、「社会保障料などの負担に対して給付が増加し、給付と負担のバランスを確保するため財政負担が生じている」と解説しました。この流れを説明することで、社会保障制度と財政が結びつき、生徒たちの財政への理解が進むと思えました。

さらに、「明るい未来へTRY」を使い、グループワークを実施しました。損害保険と関係するリスクを取り上げ、優先して備えるべきリスクは何かをダイヤモンド・ランキング（13ページ参照）で考えさせました。生徒たちに考えて

もらう際は、自分は何に備えるべきかを、個人で考えさせると同時に、グループのメンバーの価値観をすり合わせてひとつのダイヤモンド・ランキングを作るように指示しました。結果、生徒たちは自分の価値観が必ずしも他者の価値観と一致しないことを知ったようで、「人によって見るポイントが違って面白い」という感想がありました。

今回の授業は、広い意味でのキャリア教育でもあると思っています。生徒たちの未来には、さまざまな選択が待ち受けています。そのときに、何を選ぶか。生徒たちには「なんとなく」選ぶのではなく、いろいろな条件を考慮した上で結論（選択）に到達してほしいと願っています。この授業を通して、社会保障制度や民間保険を理解することと同時に、自分で考えて結論に達することを学んでもらえたら嬉しいです。

今回実践した授業プランのご紹介

公民科[公共、政治・経済]

対応単元(例) 公共・少子高齢社会における社会保障

目的

- 社会保障制度と民間保険(損害保険)の役割について理解する。
- 損害保険の学習において、備えたいリスクに優先順位をつけることで、主体的に人生のリスクに向き合う態度を養う。

プランのポイント



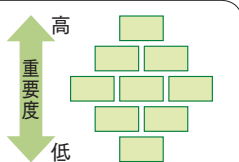
- ▶ 「自助・共助・公助」の説明から入り、保険のしくみを前半に学習することで、日本の社会保障制度の中心である社会保険と、その後に学ぶ民間保険の内容を理解しやすくする。
- ▶ 高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説の公民編において、公共では財政の持続可能性と社会保障を関連づけて扱うこととされていることを反映した。
- ▶ 2コマ以上に拡充させて、生徒の対話的な活動時間を増やすことも可能である。

学習の展開

| 時間配当 (各) [計] | 学習内容と指導上のポイント | | 使用教材等 |
|----------------------|--|---|---|
| | 学習内容 | ポイント | |
| 導入 (5分) [5分] | <p>本時の主題 人生のリスクを踏まえて、社会保障制度と民間保険の役割を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 人生におけるリスクとは何かを考えて書き出す。 ● リスクへの対応策として自助・共助・公助の観点があることを、具体例を通じて理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 授業の冒頭で、いきなり定義の説明から入るのではなく、高校生の身近なリスク(テストで赤点を取ること等)を取り上げて、その対応策を自助・共助・公助の観点で考えさせる。 | |
| 展開 (35分) [40分] | <ul style="list-style-type: none"> ● 保険のしくみについて理解する。 ● 社会保障制度(共助・公助)を理解する。 ● 社会保障制度の持続可能性について、財政と関連づけて理解する。 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 保険のしくみについて動画「保険のキホン」を視聴すると効果的である。 ▶ 教員が社会保障制度や民間保険の恩恵を受けた経験を語ることで、生徒は自分ごととして理解しやすくなる。 | <p>冊子 「保険の役割」、「社会保険と民間保険」</p> <p>動画 「保険のキホン」</p> |
| | <ul style="list-style-type: none"> ● 自助における民間保険の役割について、ドライブやひとり暮らしのリスクについて考える。 ● 備えたいリスクについて、ダイヤモンド・ランキング*を作成する。最初は個人で作成し、その後4人程度のグループで1つのダイヤモンド・ランキングを作成する。 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 民間保険(損害保険)の個別の扱いは、生徒の興味に応じて選択する。動画は内容を絞って視聴させる。 ▶ ダイヤモンド・ランキングの作成を通じて、自分と他者のリスクへの考え方の差異や類似点を実感させる。 | <p>冊子 「友だちとドライブに行きたい!」、「憧れのひとり暮らしがしたい!」</p> <p>動画 「友だちとドライブに行きたい!」、「憧れのひとり暮らしがしたい!」</p> |
| まとめ (5分) [45分] | <ul style="list-style-type: none"> ● 授業の振り返りとして文章を作成する。 | <ul style="list-style-type: none"> ▶ 自助として民間保険を活用することも選択肢の一つであることを確認する。 | |

*ダイヤモンド・ランキング

あるテーマに対して用意した9つの選択肢をひし形に並べ、自分が大切だと考える順にランキングし、それをもとにグループで議論し、最終的にグループのランキングを決定するワークです。



大雨・台風と損害保険



豪雨で冠水した街



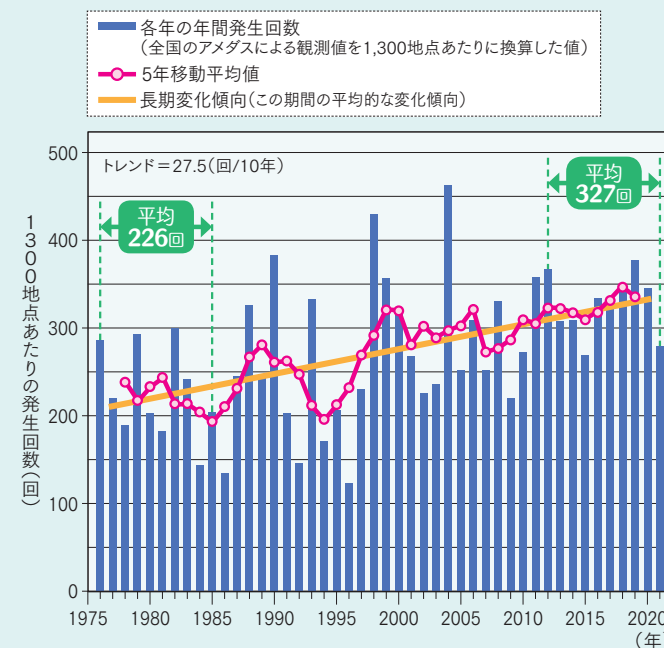
豪雨で被害を受けた住家

出典：(一財)消防防災科学センター「災害写真データベース」

近年、記録的な大雨による洪水などによって、地球規模で大きな被害が広がっています。それは日本も例外ではありません。2022年も、未曾有の豪雨が日本列島を襲い、各地に大きな被害をもたらしました。こうしたニュースを見聞きするたびに、「もはや大雨・台風の被害は他人事ではない」と、対策の必要性を強く感じている人も少なくないでしょう。

実際、1時間の降水量が50mmを超える豪雨の発生件数は増加傾向です。1976～1985年の豪雨の年間発生回数が平均約226回だったのに対し、2012～2021年には平均約327回と、約1.4倍にもなっているなど、昨今の風水災は、激甚化、頻発化しています(下のグラフ参照)。

全国の1時間降水量50mm以上の年間発生回数の経年変化(1976～2021年)



出典：気象庁「全国(アメダス)の1時間降水量50mm以上の年間発生回数」

る基礎支援金100万円と、住宅を建設・購入したことで支給される加算支援金200万円の合計額。ページ左「被災者生活再建支援制度」のコラム参照が支給されます。しかし、住宅を再建したり、修繕したりするには足りない場合もあります。公的支援に頼るだけでなく、やはり自分で備えることも大切です。

さらに被害額に関しても、左ページに「国土交通省の「過去10カ年の水害被害額」の表が示す通り、2012～2021年の5年間よりも、2017～2021年の5年間のほうが明らかに金額が増えています。具体的には、2021年1年間の全

国の水害被害総額は約3700億円。「令和3年8月豪雨」では、日本付近に停滞する前線の活動が活発になり、西日本から東日本にかけて大雨が発生しました。河川の氾濫や土砂災害などによる被害額は、約2400億円にも上っています。

被害に遭った人々には、被災者生活再建支援制度の対象となった場合、公的支援金として最大300万円(これは、住宅が全壊したことで支給され

る基礎支援金100万円と、住宅を建設・購入したことで支給される加算支援金200万円の合計額。ページ左「被災者生活再建支援制度」のコラム参照が支給されます。しかし、住宅を再建したり、修繕したりするには足りない場合もあります。公的支援に頼るだけでなく、やはり自分で備えることも大切です。

どの対策をとり、集中豪雨などの予報を聞いたなら、「安全なルートで早めの避難を心がける」「無理に避難せず、自宅の高い階に避難する」など、自分や大切な人の身を守ることを優先しましょう。そして、風水災による住まいや家財、自動車の被害に備えて、火災保険や自動車保険に加入しておくことも重要です。火災保険は「火災だけを補償する保険」と思っている人もいますが、実は「台風による被害も補償される」場合があります。さらには、洪水や土砂

過去10カ年の水害被害額

| 年 | 水害被害額 | 年 | 水害被害額 |
|-------|----------|-------|------------|
| 2012年 | 約3,500億円 | 2017年 | 約5,400億円 |
| 2013年 | 約4,000億円 | 2018年 | 約1兆4,000億円 |
| 2014年 | 約3,000億円 | 2019年 | 約2兆2,000億円 |
| 2015年 | 約3,900億円 | 2020年 | 約6,600億円 |
| 2016年 | 約4,700億円 | 2021年 | 約3,700億円 |

出典：国土交通省

コラム

被災者生活再建支援制度

災害によって住宅が全壊するなど、生活基盤に著しい被害を受けた世帯に支援金(最大300万円)が支給される制度。

住宅の被害程度に応じて支給される支援金(基礎支援金)

| 基礎支援金 | |
|------------|-------|
| 全壊・解体・長期避難 | 100万円 |
| 大規模半壊 | 50万円 |

住宅の再建方法に応じて支給される支援金(加算支援金)

| | 加算支援金 | | |
|------------|-------|-------|-------------|
| | 建設・購入 | 補修 | 賃借(公営住宅を除く) |
| 全壊・解体・長期避難 | 200万円 | 100万円 | 50万円 |
| 大規模半壊 | 100万円 | 50万円 | 25万円 |
| 中規模半壊 | 100万円 | 50万円 | 25万円 |

- ・解体世帯とは、住宅が半壊し、または住宅の敷地に被害が生じた場合で、住宅の倒壊防止、居住するために必要な補修費等が著しく高額になること、その他これらに準ずるやむを得ない事由によって住宅を解体し、または解体されるに至った世帯をいう。
- ・長期避難世帯とは、噴火災害等で危険な状況が継続し、長期にわたり住宅が居住不能になった世帯をいう。

※地方公共団体によっては、住宅被害を受けた世帯等に対し独自に支援金等を支給する制度を設けている場合がある。

また、半壊世帯のうち大規模半壊世帯には至らないが相当規模の補修を要する中規模半壊世帯の場合、基礎支援金は支給されないが、加算支援金(建設・購入100万円、補修50万円、賃借(公営住宅を除く)25万円)は支払われる。

なお、自ら修理する資力が乏しい世帯に対して必要最小限度の部分を応急的に修理する「住宅応急修理(災害救助法)」や、災害で罹災した住宅の早期の復興を支援するために住宅ローンを提供する「災害復興住宅融資(住宅金融支援機構)」などもある。

出典：内閣府「公的支援制度について」

※契約タイプによっては補償内容が異なりますので、保険金請求にあたっては、現在のご契約内容をご確認するとともにご自身が加入されている保険会社にご照会ください。